FO-1□MEL-CLS-1）細胞

300175

MEL-CLS-1□しても知られるFO-1細胞株は、転移部位、特に白人患者の腸骨リンパ節に由来するヒト無色素性黒色腫株である。この細胞株は異種移植片から樹立され、転移性黒色腫に焦点を当てた研究における有用性をさらに確実なものにしている。 FO-1が由来する無色素性黒色腫は、メラニン色素がないこ □が特徴であり、これらの腫瘍に関連する典型的な色素沈着を欠く黒色腫の亜型を研究する上で特に貴重である。

FO-1細胞株は約38時間の倍加時間を示し、特に49回目の継代で顕著である。この比較的速い増殖速度は、急速な細胞増殖を必要 □する実験に適している。FO-1細胞は、インターフェロン-β（IFN-β）および12-O-テトラデカノイル-ホルボール-13-アセテート（TPA）の分化および抗増殖効果に対する反応性を含め、様々な治療に対する感受性の差で知られており、様々な実験条件下でのメラノーマ関連抗原および HLA抗原発現の調節を研究するための重要なモデル □なっている。

概要

□明

MEL-CLS-1□しても知られるFO-1細胞株は、転移部位、特に白人患者の腸骨リンパ節に由来するヒト無色素性黒色腫株である。この細胞株は異種移植片から樹立され、転移性黒色腫に焦点を当てた研究における有用性をさらに確実なものにしている。 FO-1が由来する無色素性黒色腫は、メラニン色素がないこ □が特徴であり、これらの腫瘍に関連する典型的な色素沈着を欠く黒色腫の亜型を研究する上で特に貴重である。

FO-1細胞株は約38時間の倍加時間を示し、特に49回目の継代で顕著である。この比較的速い増殖速度は、急速な細胞増殖を必要 □する実験に適している。FO-1細胞は、インターフェロン-β（IFN-β）および12-O-テトラデカノイル-ホルボール-13-アセテート（TPA）の分化および抗増殖効果に対する反応性を含め、様々な治療に対する感受性の差で知られており、様々な実験条件下でのメラノーマ関連抗原および HLA抗原発現の調節を研究するための重要なモデル □なっている。

ティッシュ	皮膚
病気	無色素性黒色腫
転移部位	腸骨リンパ節

同義語

- FO-1
- FO #1
- FO 1
- MEL-CLS-1

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで

核型

モーダル番号51、範囲38~56

識別子

引用

FO-1（MEL-CLS-1）（サイシオン カタログ番号 300175）

NCBI 納税者番号	9606

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

セロサウルス	CVCL_5619

発現と感受性

タンパク質の発現

P53(+)

変異プロファイル

BRAF V600Emut

ウイルス

陰性Sendai ˊ Ectromelia ˊ Polyoma ˊ K-Virus ˊ Kilham ˊ Reo 3 ˊ PVM ˊ LCM ˊ M.pulmonis ˊ MVM ˊ Theiler's GD VII ˊ Toolan's H-1 ˊ MHV ˊ LDV ˊ RCV/SDA ˊ M-アデノウイルス、B.piliformis陰性。

取り扱いと飼育

培地

DMEM ˊ w: 4.5g/Lグルコース、w: 4mM L-グルタミン、w: 3.7g/L NaHCO3 ˊ w: 1.0mMピルビン酸ナトリウム（Cytion品番820300a）

培養雰囲気	37℃ ˊ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウム□マグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ˊ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ˊ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地□静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	1 × 10^4 細胞/cm^2
流体の更新	3日ご□
解凍後の回復	解凍後、細胞を5×10^4細胞/cm^2で播種し、凍結処理からの回復□接着を少なく□も24時間以上行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイ□発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないこ□を確認するため、細胞培養物は毎日目視検査が行われる。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

凍結培地	凍結保存培地□しては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤 □代謝安定剤を含むCM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置 □してのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤□□もに、有効な断熱包装でドライアイス □□もに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	54年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守するこ □が必須である。適切な保護手袋 □保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質□生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であるこ □を保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合しているこ□を保証します。
詳細については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB